



みなみっ子

学校教育目標

自立

協働

創造

61号

令和8年9月7日(月)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

これからの学びと次期学習指導要領について

現在、教育の世界では「次期学習指導要領(2030 年代初頭からの新しい学習基準)」に向けた準備や議論が進められています。「子どもたちが大人になる未来を見据え、学校での学びをどう変えていくか」という大切な節目です。「授業やテストはこれからどう変わるの?」「家庭ではどう対応すればいいの?」といった疑問や不安をお持ちの保護者の方もいらっしゃるかと思います。今回は、これからの授業のポイントとご家庭での関わり方について分かりやすくお伝えします。

1 授業はこう変わると予想されます! ~3つの大きなポイント~

これまでの「全員が同じペースで先生の話聞き、知識を覚える授業」から、子どもたちが自分らしく、主体的に学ぶ授業へとさらに進化していくと考えられます。

ポイント①:一人ひとりのペースに合わせた学び(個別最適な学び)

1人1台端末(タブレット・PC)などを活用し、それぞれの得意・苦手や興味関心に応じた学習を取り入れられていくと思います。一律の進度ではなく、自分のペースでしっかり理解を深められる環境がより整えられると思います。

ポイント②:自分で問いを立て、調べる力(探究と情報活用)

ただ暗記するだけでなく、「なぜだろう?」と問いを持ち、インターネットや本を使って情報を集め、自分で体験し考えて表現する等の「探究的な学び」を重視されます。あふれる情報から正しいものを見極める力が大切になります。

ポイント③:テストの点数だけでなく「成長のプロセス」を重視

テストの結果だけでなく、「どのように試行錯誤したか」「友達どのように協力して課題を解決したか」という学びに向かう姿勢や過程をしっかり評価されます。

2 ご家庭で大切にしていきたいこと

学校の学びが変わるからといって、ご家庭で特別な勉強を教え込む必要はありません。日常のコミュニケーションの中で、以下のことを少し意識していただくと、子どもたちの「学ぶ力」が大きく伸びます。「どう思う?」「どうしてかな?」と問いかけてみるのが大切です。正解をすぐに教えるのではなく、お子さんの考えや理由を聞いてみてください。「自分で考える楽しさ」を実感する第一歩になります。また、失敗や「試行錯誤」を温かく見守ることも大切です。一発で正解を出すことよりも、失敗してから「次はどうしよう?」と工夫することに価値があります。結果だけでなく、挑戦したプロセスをほめてあげてください。そして、疑問と一緒に調べてみることも大切です。「どうして空は青いんだろう?」「このマークは何だろう?」など、日常のふとした疑問に対し、「一緒に調べてみようか」と図鑑やタブレットと一緒に開く体験が、探究心を育てます。

おわりに

これからの時代に求められるのは、「正解のない問いに対して、自分らしく考え、人と協力しながら納得のいく答えをつくり出していく力」です。学校とご家庭が同じ方向を向き、子どもたちの小さな成長や変化をともに喜び合える関係でありたいと考えております。ご不明な点やご心配なことがございましたら、いつでも学校までご相談ください。今後とも、あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

2030年代に向けた新しい学びのカタチ:学校と家庭で育む「生きる力」



授業はこう変わる!3つの進化

一人ひとりのペースに合わせた「個別最適な学び」

1人1台端末を活用し、得意・不得意や興味に合わせた自分らしい学びを実現します。



自ら問いを立てて解決する「探究と情報活用」

正しい情報を見極め、自ら考えて表現する力を重視した授業へと進化します。



ご家庭での関わり方のヒント

正解を教える前に「どう思う?」と問いかける

お子さんの考えや理由をじっくり聞くことが、自分で考える楽しさに繋がります。



失敗や「試行錯誤」を温かくほめる

一発で正解を出すことより、失敗から「次はどうしよう?」と工夫する姿を大切にします。



点数よりも「成長のプロセス」を重視

試行錯誤や友達との協力など、結果に至るまでの姿勢を正に評価します。



日常の疑問を「一緒に」調べてみる

「どうして?」という疑問に対し、図鑑やタブレットで共に調べる体験が探究心を育てます。